



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東
コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 尾口 順一 TEL 03 (3593) 1728
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	7,776	4.6	419	△9.2	542	△8.5	317	△15.3
2023年8月期第2四半期	7,437	15.7	462	53.7	593	△12.1	375	△11.1

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 329百万円 (△15.7%) 2023年8月期第2四半期 390百万円 (△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	41.51	—
2023年8月期第2四半期	49.01	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	22,088	8,727	39.1
2023年8月期	20,898	8,505	40.4

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 8,647百万円 2023年8月期 8,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,900	7.2	1,030	24.1	1,260	5.7	819	10.1	106.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	7,660,000株	2023年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	480株	2023年8月期	480株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	7,659,520株	2023年8月期2Q	7,659,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、個人消費に足踏みがみられたものの緩やかな持ち直しの動きがみられました。先行きについては、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待される中で、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等が経済環境に与える影響には十分注意する必要があります。先行き不透明な状況が続いております。物流業界においては、トラックドライバーの時間外労働を制限する働き方改革関連法の適用が2024年4月1日から開始となる中で、何も対策を講じなければ2024年度には14%、2030年度には34%の輸送力不足の可能性があるとされている「2024年問題」について、政府は2023年6月に「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」より商慣行の見直し、物流の効率化、荷主・消費者の行動変容について抜本的・総合的な対策をまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」を閣議決定し、10月に2030年度の輸送力不足の解消に向け可能な施策の前倒しを図るため「物流革新緊急パッケージ」を策定、トラックGメンによる荷主・元請事業者の監視体制を強化し2024年1月に初の勧告2件の実施、2月には2030年度に向けた政府の中長期計画を発表、及び「2024年問題」に対応し、物流の持続的成長を図るため「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」が閣議決定されるなど、従来にはない積極的な姿勢で「2024年問題」の対策を着々と進めております。レンタル方式によるパレット輸送は、荷待ちや荷役時間の短縮に有効な手段であり、パレットの回収及び流失防止の仕組みもあることから高い関心を集めていることにより、輸送用レンタルパレットの需要は順調に推移しました。保管用レンタルパレットの需要は、港湾地区の冷蔵・冷凍倉庫向けで在庫の減少があったものの、依然として在庫量は前年同期の水準を維持しており、堅調に推移しました。また、パレット保有枚数の増加により減価償却費は増加しました。販管費については、2023年9月よりベースアップを実施し、人件費が増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,776百万円（対前年同期比4.6%増加）、営業利益は419百万円（同9.2%減少）、経常利益は542百万円（同8.5%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は317百万円（同15.3%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（物流事業）

物流の2024年問題となる働き方改革関連法の適用が2024年4月1日から開始となる中、輸送力不足により運搬なくなるリスクを回避するためにパレット輸送は有効な手段であり、レンタル方式によるパレット輸送は、パレットの回収業務の負担軽減及び流失防止の仕組みが充実しているため関心は高まっております。輸送用レンタルパレットにおいて、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収は、順調に推移しました。また、パレット輸送が進んでいない業界へのアプローチも進めております。保管用レンタルパレットについては、港湾地区の冷蔵・冷凍倉庫を中心として在庫の減少があったものの、依然として在庫量は前年同期の水準を維持し、堅調に推移しました。販売は企業の物流拠点投資も継続しており堅調に推移しました。また、海外事業は計画通り推移しました。物流IoT事業は、引き続き医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）の貢献に加え、販売案件を受注しました。アシストスーツは、サポートジャケットシリーズ新商品の販路拡大に取り組んでおります。

以上の結果、物流事業では、売上高7,182百万円（対前年同期比3.9%増加）、セグメント利益1,145百万円（同6.5%減少）となりました。

（コネクティッド事業）

ICTにおいては、駐車場関連の遠隔監視ソリューションの機器販売が順調に推移しました。また、DXタグについては、家畜管理や物品管理等の事業化に向け、実証実験を進めており、家畜管理につきましては商用運用を開始しました。ビークルソリューションは、コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、レンタカーやカーシェアリングへの需要が高まる中、当社顧客のシェアリング事業者での増車が進んだことから、車載器販売が好調に推移しました。また、つくば市での自主事業についても、会員の増加傾向が続いております。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高594百万円（対前年同期比13.0%増加）、セグメント損失77百万円（前年同期はセグメント損失100百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ715百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が554百万円増加したこと、及び受取手形及び売掛金が221百万円増加したことによるものであります。固定資産は15,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ474百万円増加いたしました。これは主にレンタル資産増加に伴い有形固定資産が413百万円増加したこと、及び無形固定資産が63百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は22,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,190百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,444百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が43百万円増加した一方で、その他の流動負債が294百万円減少したこと等によるものであります。また固定負債が8,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,196百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,126百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は13,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ968百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,727百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ554百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には3,728百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,729百万円（前年同期は1,606百万円）となりました。収入の主な要因としては減価償却費1,380百万円及び税金等調整前四半期純利益541百万円等であり、支出の主な要因としては法人税等の支払額178百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,243百万円（前年同期は2,321百万円の支出）となりました。支出の主な要因としては有形固定資産の取得による支出2,030百万円及び無形固定資産の取得による支出186百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,063百万円（前年同期は1,132百万円の収入）となりました。収入の要因としては長期借入れによる収入2,000百万円、支出の要因としては長期借入金の返済による支出829百万円及び配当金の支払額107百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました業績に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,211,230	3,765,498
受取手形及び売掛金	1,812,642	2,034,193
電子記録債権	119,211	198,590
商品	298,378	302,727
原材料及び貯蔵品	18,791	16,983
その他	576,923	435,359
貸倒引当金	△4,868	△5,104
流動資産合計	6,032,310	6,748,249
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	10,805,579	11,310,314
その他（純額）	2,536,331	2,445,484
有形固定資産合計	13,341,910	13,755,798
無形固定資産	751,325	814,547
投資その他の資産		
その他	784,784	781,767
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	772,834	769,817
固定資産合計	14,866,070	15,340,163
資産合計	20,898,381	22,088,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,023,634	2,022,032
1年内返済予定の長期借入金	1,514,658	1,558,641
未払法人税等	161,394	173,381
賞与引当金	237,284	226,502
役員賞与引当金	—	22,660
その他	735,690	441,402
流動負債合計	4,672,661	4,444,620
固定負債		
長期借入金	6,791,924	7,918,866
役員退職慰労引当金	568,281	597,797
退職給付に係る負債	337,320	376,509
資産除去債務	15,900	15,993
その他	6,439	6,786
固定負債合計	7,719,865	8,915,952
負債合計	12,392,526	13,360,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	7,935,004	8,145,717
自己株式	△923	△923
株主資本合計	8,421,430	8,632,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,808	6,232
為替換算調整勘定	5,167	8,631
その他の包括利益累計額合計	14,975	14,863
非支配株主持分	69,448	80,832
純資産合計	8,505,854	8,727,839
負債純資産合計	20,898,381	22,088,413

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）
売上高	7,437,023	7,776,570
売上原価	5,014,941	5,266,651
売上総利益	2,422,082	2,509,919
販売費及び一般管理費	1,959,765	2,089,941
営業利益	462,316	419,977
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	627
受取補償金	150,908	132,063
その他	15,618	17,888
営業外収益合計	166,547	150,579
営業外費用		
支払利息	16,234	21,400
その他	19,428	6,244
営業外費用合計	35,662	27,645
経常利益	593,200	542,911
特別利益		
固定資産売却益	225	90
特別利益合計	225	90
特別損失		
固定資産除却損	845	1,866
特別損失合計	845	1,866
税金等調整前四半期純利益	592,580	541,136
法人税、住民税及び事業税	231,454	190,090
法人税等調整額	△26,988	21,985
法人税等合計	204,465	212,075
四半期純利益	388,115	329,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,754	11,113
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,360	317,946

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）
四半期純利益	388,115	329,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,325	△3,576
為替換算調整勘定	4,798	3,734
その他の包括利益合計	2,473	158
四半期包括利益	390,589	329,218
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,626	317,834
非支配株主に係る四半期包括利益	13,962	11,384

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	592,580	541,136
減価償却費	1,302,212	1,380,332
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,810	235
賞与引当金の増減額（△は減少）	△18,182	△10,819
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	32,642	22,660
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	792	29,515
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	22,489	39,189
受取利息及び受取配当金	△20	△627
支払利息	16,234	21,400
固定資産売却損益（△は益）	△225	△90
固定資産除却損	845	1,866
売上債権の増減額（△は増加）	△3,865	△299,845
棚卸資産の増減額（△は増加）	13,646	△8,409
仕入債務の増減額（△は減少）	131,597	302,837
未払又は未収消費税等の増減額	△36,339	55,467
その他	△74,849	△145,294
小計	1,981,367	1,929,555
利息及び配当金の受取額	20	1,060
利息の支払額	△17,430	△22,532
法人税等の支払額	△357,465	△178,283
法人税等の還付額	207	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,606,699	1,729,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,122,505	△2,030,326
有形固定資産の売却による収入	225	90
無形固定資産の取得による支出	△167,108	△186,675
投資有価証券の取得による支出	△25,000	△25,000
投資有価証券の売却による収入	5,520	2,600
その他	△13,028	△4,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,321,897	△2,243,863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△767,642	△829,075
配当金の支払額	△99,391	△107,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,132,966	1,063,566
現金及び現金同等物に係る換算差額	△277	4,764
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	417,491	554,268
現金及び現金同等物の期首残高	3,143,524	3,174,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,561,015	3,728,750

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前題に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,910,852	526,170	7,437,023	—	7,437,023
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	6,910,852	526,170	7,437,023	—	7,437,023
セグメント利益又は 損失 (△)	1,225,452	△100,767	1,124,685	△531,484	593,200

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△531,484千円には、セグメント間取引消去2千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△531,487千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,182,147	594,423	7,776,570	—	7,776,570
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	7,182,147	594,423	7,776,570	—	7,776,570
セグメント利益又は 損失 (△)	1,145,759	△77,647	1,068,112	△525,200	542,911

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△525,200千円には、セグメント間取引消去0千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△525,200千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。